

笠原小学校・笠原中学校「外国語(英語)科」における目標の段階表 【読むこと(音読)】

| 外国語科の目標 | | | | | | | | | |
|--|--|--|--------------------------|---|-----------------------------------|--|---|--|--|
| 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 | | | | | | | | | |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | | 外国語表現の能力 | | | | 言語や文化についての知識・理解 | | | |
| 取組 | 継続 | 話題 | 内容 | 方法 | 程度 | 言語知識 | 文化理解 | 評価時期・方法 | |
| 中 第三学年 | | | 書き手の意見や主張、その根拠等を | | 250語前後、25文程度の英語を音読することができる。 | 中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。 | | ・パフォーマンステスト ・LESSON 4 USE Read ・Let's Read 1 (Dolphin Tale) ・Let's Read 2 (We Can Change Our World) ・Let's Read 3 (The Story of Nishikori Kei) | |
| 中 第二学年 | | | 書き手の考えや気持ち、その理由等を | 声色、読む速さ、声量、明瞭さ、間の取り方等に留意して、場面や状況、登場人物の気持ちを感情豊かに表現しながら | 150語前後、20文程度の英語を音読することができる。 | 中学校第2学年で学習する言語材料について正しく理解している。 | | ・パフォーマンステスト ・Let's Read 1 (A Pot of Poison) ・Let's Read 2 (Landmines and Aki Ra) | |
| 中 第一学年 | | 自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等について | 書き手の考えや気持ち、その理由、事実、出来事等を | 場面や登場人物の気持ちを表現しながら | 100語前後、20文程度の英語を音読することができる。 | 中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。 | | ・パフォーマンステスト ・LESSON 7 USE Read ・Let's Read (Alice and Humpty Dumpty) | |
| 第六学年 | | | 自分や友だちの好きなことや将来の夢等を | 語の長さやローマ字読み、アルファベットのもつ音に加え、発音と綴りの関係性を手がかかりにしながら、声量や明瞭さに留意して | 1文4～6語程度からなる英文を音読することができる。 | これまでに学習してきたことに加え、自分や友だちの好きなことや将来の夢等を表現する言語材料の読み方を正しく理解している。 | | 授業内における行動観察 第4回パフォーマンステスト | |
| 第五学年 | 読み間違えたり、詰まったりしたときに読み直して積極的に音読している。 | (読み間違えたり、詰まったりしたときに読み直して音読し続けている。) | 色や形、物の名前、指示や質問等を | 語の長さやローマ字読みに加え、アルファベットのもつ音を手がかかりにしながら、声量や明瞭さに留意して ・音声の5項目に留意して | 1文4～5語程度からなる英文を音読することができる。 | これまでに学習してきたことに加え、色や形、物等の名詞や、指示や質問に使われる動詞等の読み方を正しく理解している。 ・英語の音声の特徴(5項目)を理解している。 | | 授業内における行動観察 第4回パフォーマンステスト | |
| 第四学年 | | 身近な事からについて | 動物やスポーツ、食品等の名前を | 語の長さやローマ字読みを手がかかりにしながら、声量や明瞭さに留意して ・語の基本的な強勢に留意して ・現代の標準的な発音で | 1語3～5文字程度からなる単語を音読することができる。 | これまでに学習してきたことに加え、動物やスポーツ、食品等の名前を示す身近な単語の読み方を正しく理解している。 | | 授業内における行動観察 第4回パフォーマンステスト | |
| 第三学年 | | | | 文字の形を手がかかりにしながら、声量や明瞭さに留意して | アルファベットの大字と小文字全52文字を名前読みすることができる。 | アルファベットの大字と小文字の形と名前読みを正しく理解している。 | | 授業内における行動観察 第4回パフォーマンステスト | |
| 第二学年 | | | | | アルファベットの小文字を名前読みすることに慣れ親しむ。 | アルファベットには大文字と小文字があることを理解している。 | | 【評価しない】 | |
| 第一学年 | ・間違えることを恐れず積極的に音読している。 ・読み間違えたときに読み直して積極的に音読している。 | (間違えることを恐れず音読し続けている。) (読み間違えたときに読み直して音読し続けている。) | | 見本と見比べながら、声量や明瞭さに留意して | アルファベットの大字、字を名前読みすることに慣れ親しむ。 | アルファベットの大字の名前読みには、日本語にはない発音があることを理解している。 | 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣等、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。 | 【評価しない】 | |

空白のマトリックスについては、その学年において新たな指導内容がないことを意味し、既習の指導内容を繰り返し継続的・系統的に指導するものとする。